



帯広市長  
よねざわ のりひさ  
米沢 則寿さん

1956(昭和31)年生まれ、帯広市出身。1978年北海道大学法学部卒業、同年石川島播磨重工業株式会社(現IHI)入社。1985年日本合同フィナンズ株式会社(現株式会社ジャフコ)入社。北海道ジャフコ株式会社取締役社長、株式会社ジャフコ常務取締役、ジャフココンサルティング株式会社取締役社長を経て、2010年4月の帯広市長選で当選。現在2期目。

帯広から全国へ  
十勝の魅力を発信中。  
食を軸とした産業や  
観光を推し進めます。

十勝19市町村の中で唯一の市である帯広市は、必然的に十勝全域から物流や商業が集積します。帯広市を含めた十勝の基幹産業は農畜産業ですが、原材料としての食料の一大生産地としてだけでなく、現在は地場で加工まで行ったり、現地で消費してもらう機会を増やすなど、十勝全域で食に関して積極的にPRする「フードバレーとかち」の取り組みを推進しています。

また、観光の面でも農地の風景は大きな魅力を持っていると感じています。私は農村風景ではなく「農業風景」と呼んでいるんですが、農業をしっかりとやっているからこそ美しく見える十勝の農業風景。もともとある自然の恵みと、そこで育まれてきた人々の営みを感じられます。他にも世界で唯一のばんえい競馬や、北海道ガーデン街道、豚井など誇れるものがたくさんあります。持っていないものを求めるより、今手元にある資源を最大限に活かして今後もまちづくりを進めていきたいと思っています。

昨夏の台風で十勝も大きな被害を受けましたが、そんな中で大きな活躍を見せてくれたのが道東自動車道でした。物流幹線である国道274号の日勝峠や鉄道が寸断された中、いち早く復旧して流通路が確保できました。人や物だけでなく情報も行き交う「情報道路」として、今後も大いに活用していきます。

十勝・帯広は、歴史や時間の積み重ねを見る観光ではなく大平原の「空間」を感じて心の洗濯ができる場所だ、と友人に言われたことがあります。ぜひ、十勝・帯広ならではの雄大な空間を感じにいらしてほしいと思います。

趣味は読書。前職時代に世界各地を見て回った経験から、物語の実際の場所が目に浮かぶのさう。



カレーショップインディアン

帯広及び近郊や釧路まで、12の店舗を構えるカレーの専門店。1968年の開店以来、帯広でカレーと言えばインディアン、というくらい、地元では超定番のカレー店です。

カレーショップインディアン

住 帯広市内、及び近郊 開 密 休 駐 店舗により異なる  
各店舗の詳細は下記HPでご確認ください。  
HP <http://www.fujimori-kk.co.jp/indian/>



元祖豚井のばんちょう

帯広と言えば豚井が有名。その代名詞とも言える存在が1933年創業のばんちょうです。極上ロースを丁寧に炭火で焼き上げ、秘伝のタレで仕上げた豚井はまさに元祖の味。

元祖豚井のばんちょう

住 帯広市西1条南11丁目19番地 開 0155-22-1974  
密 11:00~19:00 休 月曜、第1・3火曜 駐 無し



満寿屋商店 麦音

使用する小麦は十勝産100%、その他の食材も十勝産にこだわった、地元でも人気のパン店。カフェスペースもあり、広大な小麦畑を眺めながら食事を楽しめます。

満寿屋商店 麦音

住 帯広市稲田町南8線西16-43(ビート資料館隣)  
開 0155-67-4659 密 6:55~20:00 休 年末年始  
駐 100台 HP <http://masuyapan.com>

帯広市へのアクセス

- 札幌市から 道東自動車道「音更帯広IC」を降りて道道337、道道75号を經由し約3時間
- 新千歳空港から 道東自動車道「千歳東IC」から高速道路に乗り帯広方面へ。「音更帯広IC」を降りて道道337、道道75号を經由し約2時間30分
- とかち帯広空港から 道道109、国道236、道道216号を經由し約40分。または、帯広広尾自動車道「幸福IC」から高速道路に乗り帯広方面へ。「帯広川西IC」を降りて国道236号を經由し約40分



十勝住民なら誰もが  
知ってる「当地カレー」

古くから親しまれる  
豚井発祥の店

十勝産小麦100%  
こだわりの地産地消パン

そんな米沢市長も大好きな・・・

帯広市おすすめスポット



ばんえい十勝

世界でひとつの  
迫力のレース!

「ばんえい競馬」は、北海道開拓の歴史を受け継ぐ体重1トンを超える馬が、重りを載せた鉄ソリを引いて、力とスピードを競う世界で唯一の競馬です。また、競馬場内には、ばん馬などの動物が出迎える「ふれあい動物園」や、産直市場やレストランなどの十勝の食の魅力が集まった「とかちむら」があります。

ばんえい十勝

住 帯広市西13条南9丁目 帯広競馬場  
開 ばんえい十勝 0155-34-0825 とかちむら 0155-34-7307  
密・休 開催日 土・日・月曜、ナイター13:00~20:45 薄暮開催12:00~18:45  
※レース時刻は時期によって異なります。お問い合わせください。  
ふれあい動物園 火曜のみ休 とかちむら 無休  
駐 1100台  
開 開催日は入場料100円(15歳未満無料) とかちむら 入場無料  
HP ばんえい十勝 <http://www.banei-keiba.or.jp> とかちむら <http://tokachimura.jp>



北の屋台

帯広市民が立ち上げた屋台村

2001年に北方型屋台の元祖としてオープンした「北の屋台」は、十勝の新鮮な食材とノスタルジックな雰囲気を楽しむ、帯広の夜に欠かせない名所です。和・洋・中の様々なジャンルの店舗が20軒運営されており、四季折々の旬のメニューを使ったイベントも開催しています。

北の屋台

住 帯広市西1条南10丁目7番地  
開 0155-23-8194(北の起業広場協同組合)  
密 店舗により異なる(18:00~20:00は共通営業時間)  
駐 無し HP <http://www.kitanoyatai.com>



# 行ってみよう、あの町、この町

町長に聞きました、マチの魅力

その2

地図P.7~8

## 池田町



池田町長  
かつい かつまる  
**勝井 勝丸**さん

1950(昭和25)年生まれ。宮城県色麻町出身。1974年山梨大学工学部発酵生産学科卒業。同年池田町役場奉職。公営課ぶどう酒醸造係配属。1980年企業部ぶどう・ぶどう酒研究所醸造係長。1996年東京事務所長。1998年町営牧場長を経て、2000年9月に退職。同年10月より池田町長に就任。現在5期目。

65歳以上の高齢化率が40%を超え、十勝で最も高い池田町では現在医療を中心とした福祉支援と子育て支援を重点的に、安心して暮らせる社会保障の充実を進めています。

池田町は基幹産業である農業を土台とした観光のまちでもあります。「いけだ牛」をはじめとする肉牛や、高品質な豆類や小麦、そして何より、既に半世紀以上の歴史を誇る十勝ワインなど、ものづくりを中心とした観光のまちづくりも重要な取り組みのひとつです。

自生していた山ブドウから着想を得て、当時「ワイン町長」と呼ばれた丸谷町長が推し進め、自治体として初の果実酒類試験製造免許を取得した池田町のワイン事業は、今や十勝を代表するブランドに成長しました。ワインの飲み放題や道産牛の炭火焼き、池田町産牛の丸焼きが楽しめる「秋のワイン祭り」は、道内外から5,000人が集まる人気イベントになりましたし、ワイン事業関連で年間20万人以上の観光客

の皆さんに来ていただいています。

そうした集客に大きな効果をもたらしたのは道東自動車道の開通ですね。ありがたいことにワイン祭りのチケットが発売直後に完売するのも、高速道路の開通と無縁ではないと思います。地域医療の面でも、帯広の総合病院への移動時間が短くなったり、宿泊施設のある十勝川温泉や広尾町など沿岸部へのアクセス向上など、連携した広域観光という点でも高速道路は欠かせません。

これからも池田町自慢の美味しい食の数々を、皆さんに楽しんでほしいですね。

「これが『清見』で、それを元に生まれたのが『山幸』で…」と、大学でも醸造を専攻したほどのワイン愛と幅広い見識を披露してくれた勝井町長。



レストランよねくら

池田駅前にある「いけだ牛」のステーキとバナナ饅頭が人気のお店。1905年から販売が開始され100年以上の歴史を持つバナナ饅頭は、バナナの香りを活かした生地で包んだ白あんの甘さが絶妙です。

**レストランよねくら**  
住 池田町字大通1丁目27 ☎ 015-572-2032  
営 9:00~20:00(ラストオーダー19:30) 休 木曜  
駐 12台 HP http://restaurant-yonekura.com



画廊喫茶ムーン・フェイス

手作りのスコーンと紅茶を堪能しながら、清見の丘の風景を眺めたり、店内に飾られた水彩画に癒されたりとそれぞれの時間をゆったりと楽しめる落ち着いたカフェです。

**画廊喫茶ムーン・フェイス**  
住 池田町字清見132 ☎ 015-572-2198  
営 10:00~18:00(10~2月は~17:00)  
休 火・水曜(3月27日及び5月中旬臨時休業あり)  
駐 8台 HP http://www.obnv.com/cafe/599/



さぬきうどん工房 麦笑

徳島からの移住者が開いた郊外型のはぐれうどんで、営業時間中は行列必至です。盛り具合が特徴で、天ぷらなど種物も美味。肉うどんは地元元絶賛の味付けです。

**さぬきうどん工房 麦笑**  
住 池田町豊田255-6 ☎ 015-572-1133  
営 11:00~15:00(売り切れ次第終了)  
休 火曜、第2水曜 駐 10台

### 池田町へのアクセス

- 札幌市から 道東自動車道「池田IC」を降りて国道242、道道73号を経由し約2時間50分
- 新千歳空港から 道東自動車道「千歳東IC」から高速道路に乗り帯広方面へ。「池田IC」を降りて国道242、道道73号を経由し約2時間30分
- とち帯広空港から 道道109、道道503、国道242、道道73号などを經由し約50分



そんな勝井町長も大好きな・・・

## 池田町おすすめスポット



ハッピーネスデリー

自家生乳から作る、季節の素材を活かしたジェラートが大人気のお店で、1989年の創業は道内でも最も古い牧場直営のジェラート店です。チーズの評価も高く、国内コンテストグランプリや、JALの国際線での利用など多数の実績を残す実力派です。

**ハッピーネスデリー**  
住 池田町字清見103-2 ☎ 015-572-2001  
営 夏期9:30~平日17:30、土・日曜・祝日18:00、冬期9:30~平日17:00、土・日曜・祝日17:30  
休 火曜(祝日、ゴールデンウィーク、お盆は営業) 駐 100台  
HP http://happiness-dairy.com

道内でも屈指のジェラートの人気店



十勝まきばの家

### 本格シープドッグショーは必見!

レストラン、宿泊施設などがある複合観光施設。コテージやレストランの利用のほか、各種アクティビティもあり、オススメは敷地内で開催されるシープドッグショー。隣接する牧場のオーナーが犬笛でボーダーコリーに指示を出し羊を操る様子は必見です。

**十勝まきばの家**  
住 池田町字清見144 ☎ 015-572-6000 営 9:00~18:00  
休 不定休 駐 20台 HP http://www.makibanoe.com

いけだ牛とバナナ饅頭が有名なレストラン

風景と絵画に癒される時間を忘れるカフェ

移住者が開いた地元絶賛のうどん店